

卒業制作・論文作品集 9

畿央大学健康科学部
人間環境デザイン学科
2014

The 9th Graduation Works.
Kio university
department of Human Environmental Design.

御挨拶

畿央大学 学長

冬本 智子

今年も早や立春の声を聞くに当たり、本学人間環境デザイン学科の卒業研究発表の時期がまいりました。

その時に当たり私は畿央大学創立に至る迄の自己の人生を省りみることにになりました。遥か90有余年以前の幼い頃、生れ故郷である農村の広々とつづく田園風景を眺めては、その朝夕の自然の変化に魅せられ、遠い異国に果てしない憧れを抱いたのであります。又自宅である村の木造住宅の中央には逞しい一本の太い柱を大黒柱と呼ばれ、日々白い布で磨き上げられて美しい光沢がありました。それは鏡の代わりになると祖母から教えられたことは忘れられないのであります。寝室であった和室の吉野杉の天井板は、絵の様な木目がひろがっておりまして。次の間から聞こえてくる単調な音。その部屋には、湯に浸っている白い蚕の繭が浮かび、それより出る細い糸をたぐりよせながら、織機の前椅子に座って、布を織っていた小柄な母の優しい姿が今も忘れられません。

感動とは、そして美しさとは、年令・性別・時代を問わず、人間の心に、生命の喜び尊さ、そして果てしない夢を与えてくれるのではないのでしょうか。

本学の建学の精神「徳・知・美」の一つにあたる「美をつくる」とはまさにその希いを表現するものであります。

今回の発表会には人間環境デザイン学科の真価を大いに発輝して頂くことになり誠に喜ばしく思います。

多くの本学学生たちに懇切なるご指導を頂いて参りました諸先生方に改めまして深く感謝申し上げ、発刊のご挨拶と致します。

contents

03 御挨拶

制作

08	[学長賞] 瀧井 朋子	— NARA LIVING —
12	[優秀賞] 荒尾 尚樹	OBP CLOUD
14	[優秀賞] 坂谷 千紘	Crystal Chandelier ～煌めき～
16	[優秀賞] 竹嶋 由加里 三木 愛伽	うらかな休日 ～ ^{わたし} 綿糸と ^{わたし} 私子～
18	荒川 朋毅 下高谷 徳之	ユニバーサルデザインサーカス ～仮設展示会場～
19	有岡 大輔	ウォール ディスプレイ
20	上田 彩加	富田林小学校建て替え計画 ～廊下は走りましょう、階段は駆け上がりましょう～
21	小原 健次郎	まちをつくる ～ 近隣のつきあい空間 ～
22	笠井 草太 関谷 優里	憧れ ～ 絹全盛のころに～
23	要 健太	ユニオン・ブロック
24	神垣 友里奈	岩惣 RESORT — 別荘型高級宿泊施設 —
25	菅野 のぞみ	大坂城天守閣再建計画 ～大阪城から大坂城へ～
26	阪木 裕晶	大阪メトロポリタンプラザ
27	嶋崎 優	SUNSET CHAPEL
28	豎元 早紀	百舌鳥ツリー — 2017年百舌鳥古墳世界遺産をめざして—
29	谷川 彩理	琵琶湖 Art Museum
30	樽井 彰吾	白の洞窟
31	永島 舞	日本列島水族館
32	西田 美里	オートクチュール ～注文の多いレディのために～
33	藤田 則嗣	WOODY BIKE
34	藤本 優美	奈良中筋町ブックカフェ
35	堀川 奈月	丘の寝いす
36	堀本 未央	タモトオリ 永住型グループホーム
37	前平 佳美	Collateral ～流～

38	松原 崇晃	楯 木 KOUZO MOCK ～ Do It Yourself～
39	溝島 尚	木林でキリン
40	山田 貴大	パーソナルチェア
41	吉崎 菜月	毎度おおきに。そこ座って食べてって。 ～道頓堀ウォーターフロント計画～
42	葭谷 舞美	艶美 — ENBI —
43	吉田 由加	UNITED CAMPUS of NAKANOSHIMA
44	田々美 智彦	かぐや姫神輿

論文

46	[優秀賞] 窪田 有利	夏季の温熱環境と真菌の実態調査 ～半地下空間のある自然共生住宅～
48	飯田 萌実 服部 礼奈 丸谷 優作	インターネットショッピングにおける 商品色のイメージに関する研究
50	岡本 和真 倉田 恵輔 西島 雅峰 細田 大翔 水ノ上 佳希 渡辺 賢太	御所市におけるコミュニティカフェ開設の経緯と 運営に関する報告
54	奥野 勇也 中田 冬馬	高齢者の熱中症対策に関する研究 ～意識調査と温熱環境・皮膚温測定～
56	高 薫子	プランニング過程に接近するための ロール・プレイング・ゲームの開発と測定
58	永尾 一祥 六車 拓也	夏期における寝室環境と睡眠の質に関する研究
60	野口 廉太 日向 稜 山本 洋三郎	大学生の部屋の壁紙に対する評価の研究 ～色相・明度・彩度による評価～
62	藤原 美紅	擬態語からの色への連想に関する探索的研究 —色相およびトーンへの連想とそれらの意味構造—
64	伊藤 慶輝	フレーザー錯視とツェルナー錯視の錯視量に及ぼす 交差角の影響について —調整法による検討—
66	[制作・研究風景]	
68	[講評会風景]	
72	[卒業作品展風景]	
73	[講評]	

制作

W
orks



加藤ゼミ

— NARA LIVING —

地元にある奈良公園は、ほかの公園とは違い少し変わった空気が漂っている。鹿が公園中において自由に暮らしている。緑の中をくぐり公園を巡る。そして、古くから残る寺社仏閣が集まる。これらが奈良公園の独特な空気、ゆったりとした時間を来る人々に届けている。その奈良公園の空間をリビングで味わえる家具を作りたいかった。

瀧井 朋子

Tomoko Takii



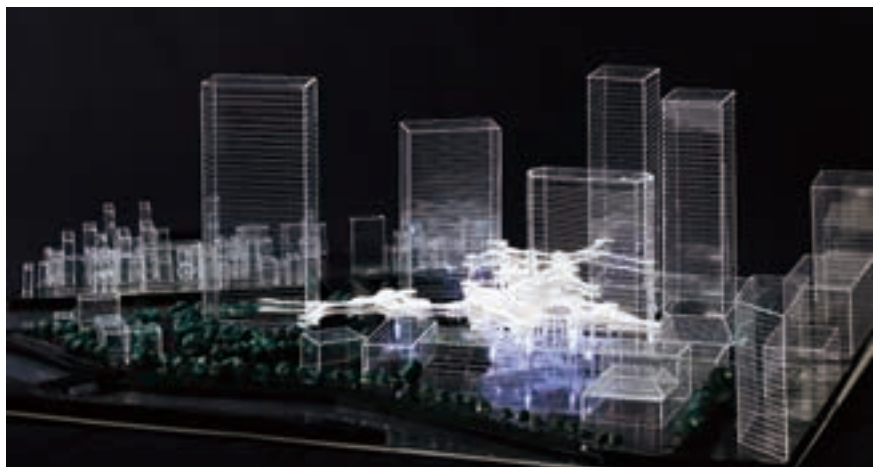






受賞のことば

まさか、自分が選ばれるとは思わず、発表された時、誰よりも一番驚いていたのは、私自身でした。
最後まで、諦めずやってきて良かったです。
作品を通して、奈良の良さが伝わればいいなと思います。
関わってくださったすべての方に感謝します。本当にありがとうございました。



藤井ゼミ

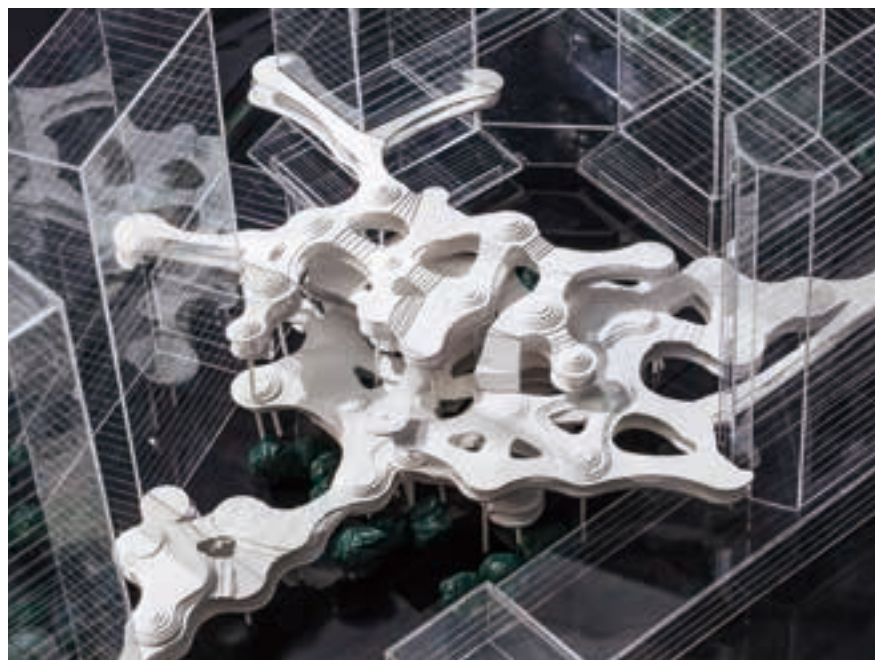
OBP CLOUD

人々はネットワーク上で繋がれるようになったが、企業の求める価値や働き方の変化からイノベーションを生み出すことが重要になった。従来のオフィスだけでは解決できないものを生み出す触媒空間。それが OBP CLOUD

荒尾 尚樹

Naoki Arai







村田ゼミ

Crystal Chandelier ～煌めき～

自分好みのデザインのドレスではなく、誰もが一目見て綺麗だと思うドレス
シャンデリアを題材にして客観的に自分の美的感覚を表現したデザイン
私の中のもう一人の私が全身全霊で生み出した作品。

坂谷 千紘

Chihiro Sakatani







村田ゼミ

うらかな休日～^{わたし わたし}綿糸と私～

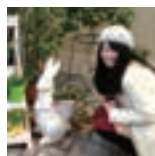
天然染料の柔らかな暖色で春をイメージ。自分たちで種から育てたオーガニックコットン100%使用。休日に都会を離れ、穏やかな時を過ごす。織り込んだ綿は作品によって色味を変え、次第に色濃くなる人生を表現した。

竹嶋 由加里

Yukari Takeshima

三木 愛伽

Manaka Miki







加藤ゼミ

ユニバーサルデザインサーカス ～仮設展示会場～

ユニバーサルデザインをテーマとしている本学部で私達が学んできた内容を、より多くの方々に知ってもらい、体験してもらうことを目的としてユニバーサルデザインとバリアフリーをあわせた展示会場を計画しました。コンテナの利便性と多くの人に注目の浴びやすいサーカステント（膜構造）を利用し、広場や空き地があればどこでも設置できる仮設展示会場としました。

荒川 朋毅

Tomoki Arakawa



下高谷 徳之

Noriyuki Shimotakatani





中山ゼミ

ウォール ディスプレイ

部屋のインテリアの一部になる壁を使った魅せる家具の提案をしたいと思いました。棚を使ったいろいろな組み合わせができ、高さも変化させることもできるので自分の好きなように組み合わせができます。

有岡 大輔

Daisuke Arioka





藤井ゼミ

富田林小学校建て替え計画

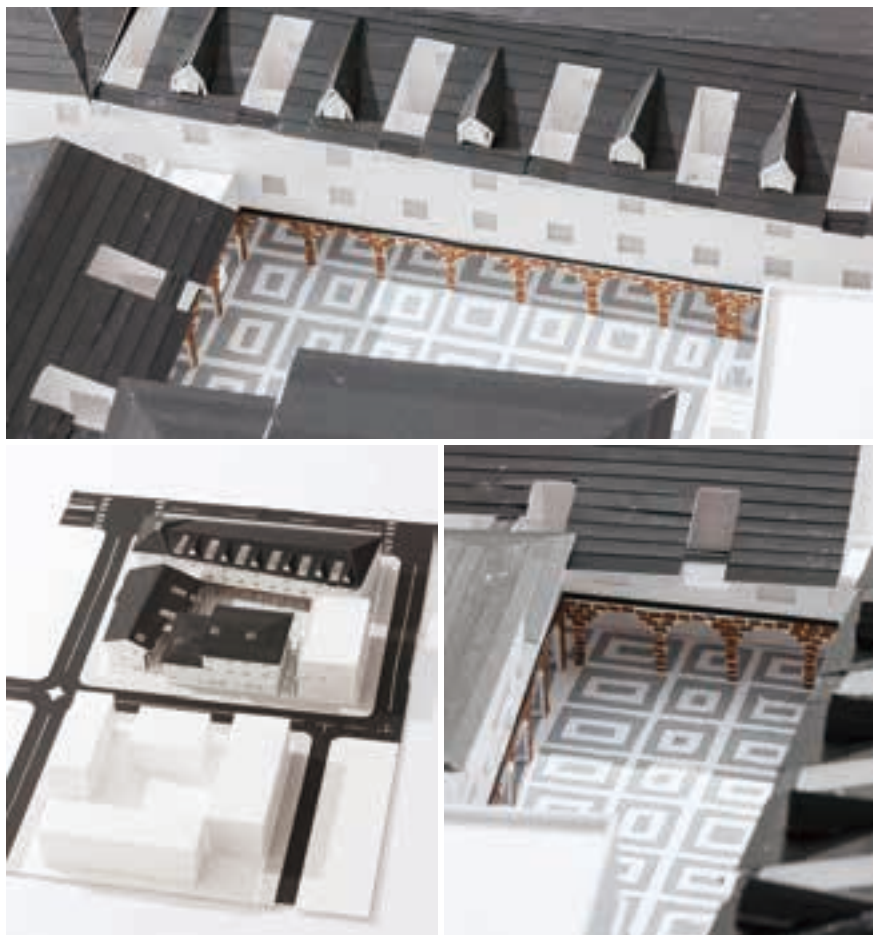
～廊下は走りましょう、階段は駆け上がりましょう～

ゲーム機の普及や遊び場がなくなってきたことにより、子供たちが外に出て遊ぶことが少なくなってきた。結果、子供たちの体力の低下が明らかである。運動してはいけない・静かにしなければいけない場所を有効に使えるようにし、身体を動かすことにつなげようと考え、1つの案として走り回れる小学校を設計。

上田 彩加

Ayaka Ueda





三井田ゼミ

まちをつくる～近隣のつきあい空間～

自然に近隣付き合いのできる街づくりをコンセプトとし、中心にひろば（付き合い空間）を設け、すべての玄関をひろばに向けるように設計。そこに近隣の付き合い空間をつくる。
プライバシーは中庭で確保する。

小原 健次郎

Kenjiro Ohara





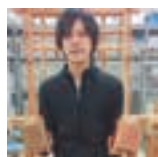
村田ゼミ

憧れ～絹全盛のころに～

自分たちで蚕を育て、繭から糸を引き、染色し、織った布でジャケットとドレスを制作。絹が全盛期であった明治時代に使用された茜とコチニールを染料とし、当時、憧れとされていた衣装をイメージした。

笠井 草太

Souta Kasai



関谷 優里

Yuri Sekiya





中山ゼミ

ユニオン・ブロック

普通の収納棚は棚に合わせて人が物を置いてる。だから逆に、使う人に合わせてカスタマイズできる収納棚を提案したい。その上でのコンセプトは「3種類のユニットでたくさんの組み合わせができる」、「様々な生活シーンに対応できる」。

要 健太

Kenta Kaname





加藤ゼミ

岩惣 RESORT ―別荘型高級宿泊施設―

「居心地」「自然」「特別感」

ホテルのスイートルームのような高級感を味わえる部屋

(スイートルーム：ホテルの部屋の間取りが、寝室、リビングルーム、応接間などほかの部屋が一對になっている客室)

各部屋に個別露天風呂設置

日々の疲れを癒してほしいという願いを込めて設計しました。

神垣 友里奈

Yurina Kamigaki





藤井ゼミ

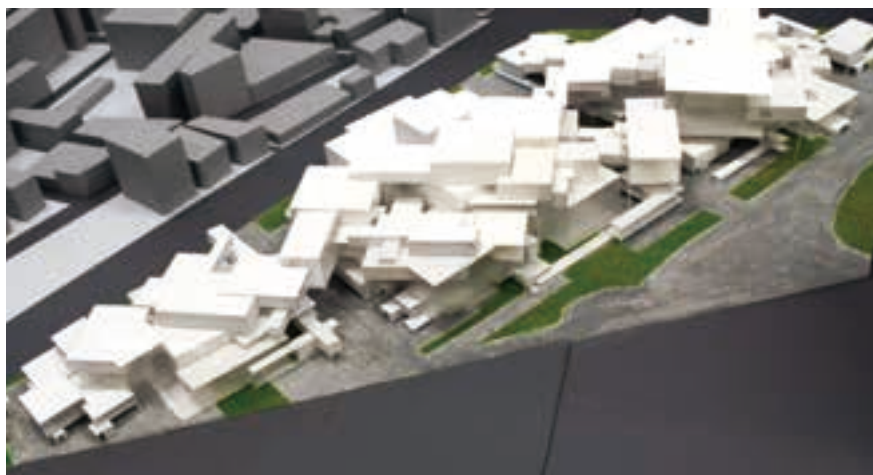
大坂城天守閣再建計画～大阪城から大坂城へ～

この作品のコンセプトは、鉄骨鉄筋コンクリート造で内部空間には見るべきものが何もない現大阪城を廃し、太閤秀吉が建てたままの姿の木造で再建することです。城内は、城郭構造体験館とする。

菅野 のぞみ

Nozomi Kanno





藤井ゼミ

大阪メトロポリタンプラザ

大阪最後の一等地に、一大文化施設を計画する。
 ここは、ハイカルチャーのみならず、サブカルチャーを受け入れる。
 ハイカルチャーの集客力で賑わいを作り出し、
 その集客力を利用したサブカルチャーの発信の場となる。

阪木 裕晶

Hiroaki Sakaki





加藤ゼミ

SUNSET CHAPEL

結婚式をなぜあげるのか
結婚式をわざわざ上げることがなくなった昨今。
恥ずかしいから どうせ見世物だから
そんな意見が世間で回っている
それでも挙げた人は声を合わせて言う。あげて良かったと。
大きくなくていい、周りの人たちにこの場を借りて言いたいありがとうと
そんな暖かい空間をうつくしい夕日とともに
また明日からも素敵に過ごせますように。そんな気持ちをこめました。

嶋崎 優

Yu Shimazaki





加藤ゼミ

百舌鳥ツリー

ー 2017年百舌鳥古墳世界遺産をめざしてー

2017年、世界文化遺産登録をめざしている百舌鳥古墳群。
しかし視覚的に上からみることが出来ない。

- ・視覚的に上から見ることの出来る高い建物
- ・“ベッドタウン”といわれている堺市

堺市のシンボルとなるモニュメント
百舌鳥古墳の世界遺産登録をめざして…

豎元 早紀

Saki Tatamoto





加藤ゼミ

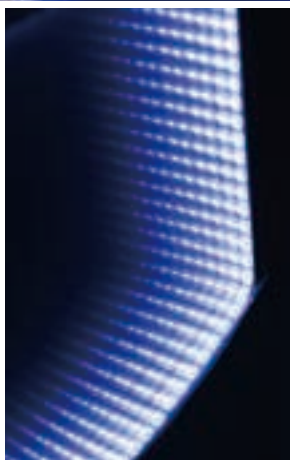
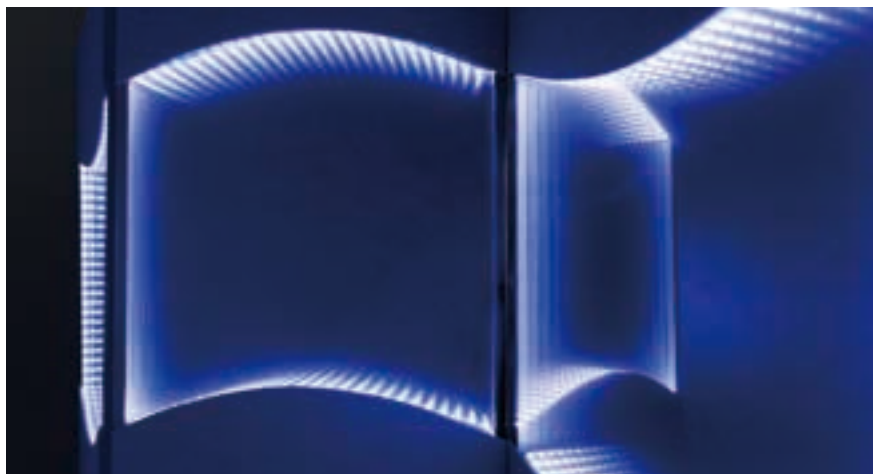
琵琶湖 Art Museum

「美術を身近に」をコンセプトに、美術展、展覧会、絵画教室などを取り入れた美術施設。水辺という環境を生かし、モネの「睡蓮」を、実際に睡蓮を浮かべた場所に展示したりと、環境とともに楽しむ展示もある。

谷川 彩理

Ayari Tanigawa





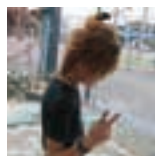
中山ゼミ

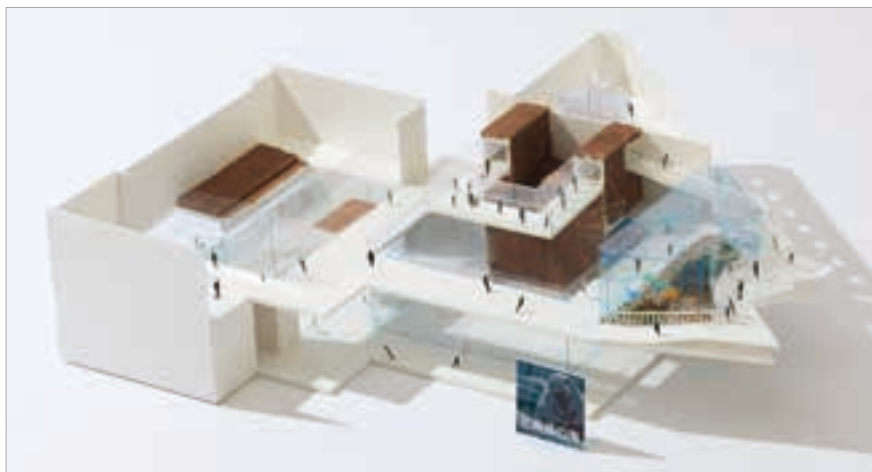
白の洞窟

車両をリメイクしている人達にまれに見られる合わせ鏡の光の反射を利用したLED技法を私たちが暮らす一般生活の中などでインテリア照明などに利用しこのLED技法を世間に広げようという目的。そこで場と場を区切るパーティションにこのLED技法を取り入れ幻想的な空間の照明かつパーティションという機能を持たしたデザインの作品。

樽井 彰吾

Shogo Tarui





藤井ゼミ

日本列島水族館

日本列島のカタチに沿った水族館。
それがこの建物です。
自分の目で海の生き物を見て、
自分の足で水族館を歩いて感じることで、
「日本のこの海にはこんな生き物が住んでいる」と知ることができる水族館。
まさに日本列島の中を歩いているような感覚になります。
北海道エリア、本州エリア、四国エリア、九州エリア、沖縄エリアの5つのエリアで展示。
そこからさらに、ゾーン分けをしています。

永島 舞

Mai Nagashima





村田ゼミ

オートクチュール

～注文の多いレディのために～

気分で、気候で、アレンジで。

注文の多いレディのために一週間同じコートでも、すこしずつ違ったスタイルに。

「その日だけの、あなただけのコート」を提案したい。

西田 美里

Misato Nishida





中山ゼミ

WOODY BIKE

最近は、プラスチックや化学製品などの遊具が主流となり、子どもの木材離れは加速していく一方である。その点から、欧州の子ども向けの遊具をオマージュし、それを通じて木に触れ合ってもらいたいと思い制作した。

藤田 則嗣

Noritsugu Fujita





加藤ゼミ

奈良中筋町ブックカフェ

近年、本屋の減少が著しい。デジタル化が進む現代は紙媒体の貴重さを感じられ、個々の紙媒体に対する注目度が高くなっている今だからこそ、紙媒体に大いなるチャンスがある。そう考えて日常的本屋に、非日常のエッセンスをプラスした。

藤本 優美

Yumi Fujimoto





中山ゼミ

丘の寝いす

丘は広々としていて、地面はでこぼこしている
そこに寝転ぶとき手を広げ、でこぼこを枕にしたり傾斜を背もたれにしたりする
丘のような寝椅子

堀川 奈月

Natsuki Horikawa





藤井ゼミ

タモトオリ 永住型グループホーム

超高齢化社会を迎えると共に増加する認知症。その中核症状は医学的問題であり、建築的な手助けは困難である。徘徊による事故死を防ぐために拘束介護を行う施設が多いが、たとえ安全が理由でも高齢者の自由や尊厳は奪えるものではない。「管理する」のではなく症状の緩和を目指しながら終身的に住むことができる福祉施設を考えた。

堀本 未央

Mio Horimoto





村田ゼミ

Collateral ～流～

私の中にキラキラした自分と淀んだ自分があることを見つけた
時間の流れは素晴らしいもので思わず振り返りたくなる
水の流れに例えドレスで表現した
～振り返るとそこには美しい水の流れ～

前平 佳美

Yoshimi Maehira





村田ゼミ

楯 木
KOUZO MOCK ~ Do It Yourself ~

和紙の原料である楮から糸を紡いで織ったハンモック。ハンモックスタンドはベンチにも変形する。一人で簡単に組み立て可能な安心・安全・安眠の2WAYハンモックで優雅な時間を…。

松原 崇晃

Takaaki Matsubara





中山ゼミ

木林でキリン

存在感のあるインテリアをテーマとし、絵本の世界から飛び出てきたような美しい色彩を身に纏った動物を表現した。見る人を喜ばせ笑顔にできるカラフルなジュラフからカジュラと名付けた。

溝畠 尚

Nao Mizohata





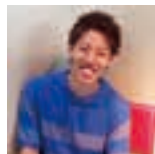
中山ゼミ

パーソナルチェア

様々な椅子が世の中にある中で、自分にとって座りやすい椅子というコンセプトをもとに、背もたれと座面の角度を検証し、疲れにくくするための体圧分散や、腰痛防止の効果があるランバーサポート機能を意識して制作しました。

山田 貴大

Takahiro Yamada





藤井ゼミ

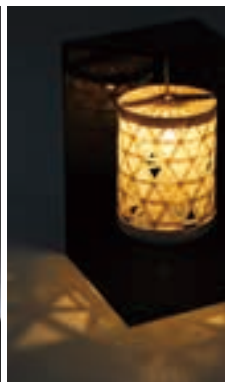
毎度おおきに。そこ座って食べてって。
～道頓堀ウォーターフロント計画～

大阪にも自由と呼べる場所が欲しい。タイバングクの都市カオサン。毎日がお祭りの自由な雰囲気魅了された。道頓堀ならではの賑やかさをもちと追求し、ビルの建て替わりを待つ。いつかミナミにしかない街になる。

吉崎 菜月

Natsuki Yoshizaki





加藤ゼミ

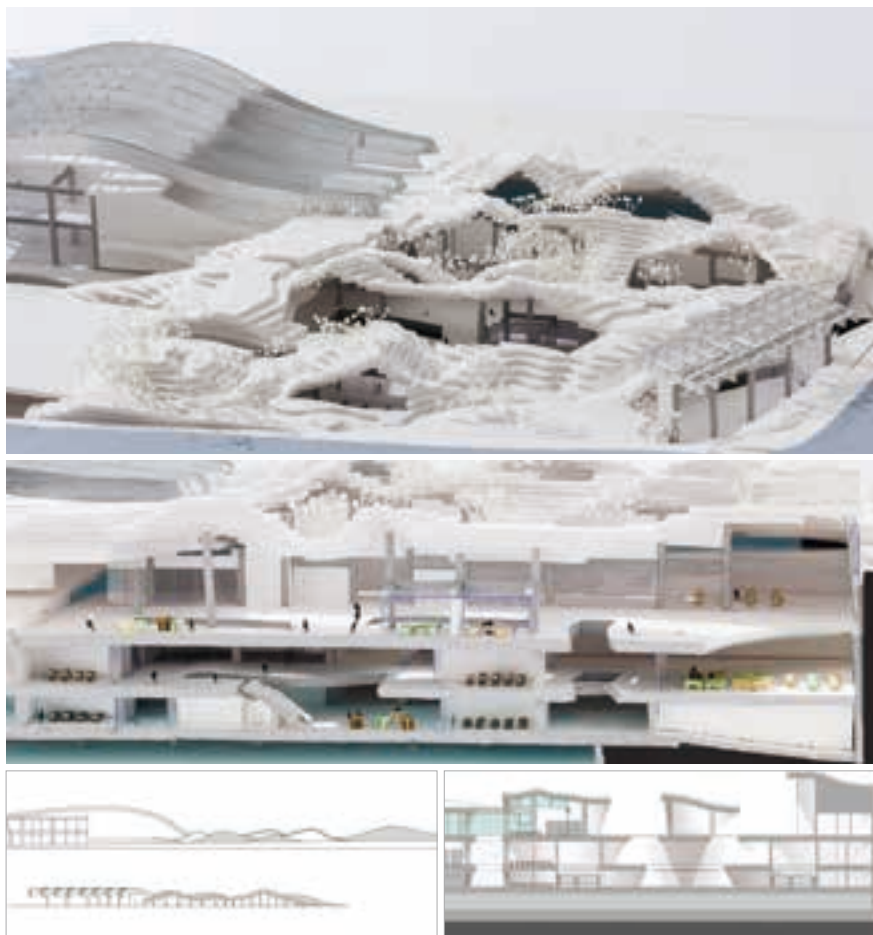
艶美 - ENBI -

暖かく柔らかい和紙と冷たく固い塩化ビニール板
そんな相対する素材で構成された照明器具。
折り重なることで、更に美しさを増す姿を表現し、
和紙の魅力を最大限に引き出した。

葭谷 舞美

Mami Yoshitani





藤井ゼミ

UNITED CAMPUS of NAKANOSHIMA

大学の都心回帰が求められているが、敷地、資金の問題から困難な課題である。それを“複数の大学が共同する”ことで実現させる。共同キャンパスを都心に設置し、様々な階層の人々によるコミュニティを生み出す。

吉田 由加
Yuka Yoshida





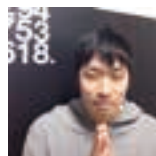
加藤ゼミ

かぐや姫神輿

平成 26 年 9 月 20、21 日に、段ボールを使ってかぐや姫神輿を制作しました。
平成 25 年度に制作した神輿は 100kg 近い重量になったので、今回は子供が担ぐことが出来る子供神輿にしました。(協力：広陵町)

田々美 智彦

Tomohiko Tatami



論文

T
hesis

夏季の温熱環境と真菌の実態調査 ～半地下空間のある自然共生住宅～

東ゼミ



窪田 有莉
Yuri Kubota

1. 研究目的

温度変動の大きい外気に面していない地下空間は暖冷房効率からみると省エネな空間であると考えられるが、居住環境としての快適性はどうか。近年、ダンプネス問題が顕在化している背景から、本研究では、夏季の温湿度環境を測定するとともに、人体に影響のある生物汚染の中から真菌に着目し、自然共生型の地下空間のある住宅を対象に測定を行うこととした。

2. 対象住宅

周囲の樹木を残存させて住宅計画された自然共生型住宅地に建つ、地下1階(RC)、地上1階(2層・木造)構造の住宅である。傾斜地に建設されているため、最下階北面は地中に埋まっている(図1)。2005年に建築され、2011年に地下寝室の壁面の一部を木質化している(表1)。



図1 対象住宅外観と平面図・断面図

表1 測定室の内装

測定室	1階		2階	
	床	壁	床	壁
1	フローリング	珪藻土	フローリング	珪藻土
2	フローリング	珪藻土	フローリング	珪藻土
3	フローリング	珪藻土	フローリング	珪藻土
4	フローリング	珪藻土	フローリング	珪藻土

3. 測定概要

3.1 温熱環境測定

外気、地下寝室・納戸、一階居間・和室に温湿度データロガーを設置し(床温度・床上60cm温湿度)、10分間隔で自動計測した。真菌測定時には放射温度計で採取箇所の内装材表面温度も測定した。

3.2 真菌測定

空中浮遊菌：RCS エアーサンプラーで床上120cmにて40ℓの空気採取(培地：アガーストリップ真菌用)した。

付着菌：スタンプ法(培地：真菌測定用CP加サブロー寒天)で床面と東西南北の壁(床から20cmと120cm)から採取した。各場所3サンプルずつ採取し、速やかにインキュベーター(25℃設定)に設置した。培養後48・72・96・120時間ごとにコロニー数をカウントし、その後、菌種の同定を行った。

【測定期間】

2014年7月7日・8月29日

4. 結果

4.1 温熱環境測定

2014年8月の温湿度経時変化をみると、居間は外気の温湿度変動に追従して変動し、日中は30℃近くになっていた。一方、地下寝室の温度はエアコンを使用しなくても26℃、床温度も24℃程度と低く、涼しく快適な温度範囲であったが、湿度が80%と高く維持されており、夏季には除湿をする必要があると考えられた(図2)。

4.2 真菌測定

[空中浮遊菌]

外気の空中浮遊菌濃度は、周囲の自然環境の影響でやや高く、 $1000\text{cfu}/\text{m}^3$ を上回っていたが、担子菌の割合が多かった。室内濃度は1/0比2未満で日本建築学会環境基準を満たしていた。相対湿度と真菌濃度は相関がみられ、80%を超えると高くなる傾向がみられた(図3)。

[付着菌]

地下寝室の壁面の付着菌は床上120cmより20cmの濃度が高かった。生活用品等で物陰になることのほか、表面温度との負の相関がみられた(図4)。表面温度が露点温度に近くなる箇所において、真菌濃度が

高く、注意を要すると考えられた。内装改修により表面温度が上昇した箇所の濃度は低くなった。菌種では地下室はアスペルギルスが寡占菌で、一階は外気の影響を受け、クラドスポリウム、ペニシリウムの検出割合が高かった。

5. まとめ

半地下空間における真菌数は建築経過年数に伴い減少していた¹⁾。今後とも快適に暮らすには、夏季は真菌対策として除湿し、生活用品数を抑え、換気と清掃に留意する住まい方を提案する。

文献1. 松井佐愛子・園田恵子：住環境におけるカビ・ダニ汚染の実態に関する事例研究 平成19年度畿央大学卒業論文

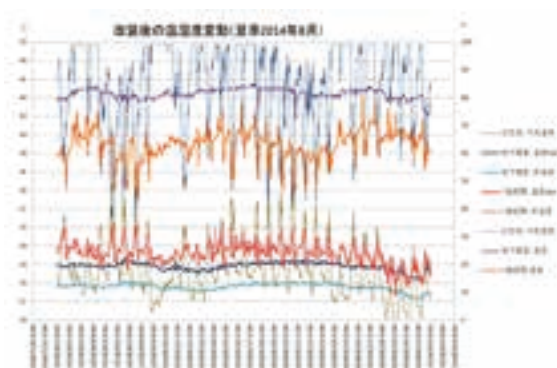


図2 温熱環境の経時変化(2014年8月)

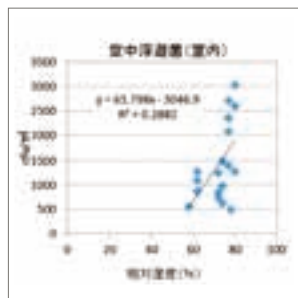


図3 相対湿度と空中浮遊菌

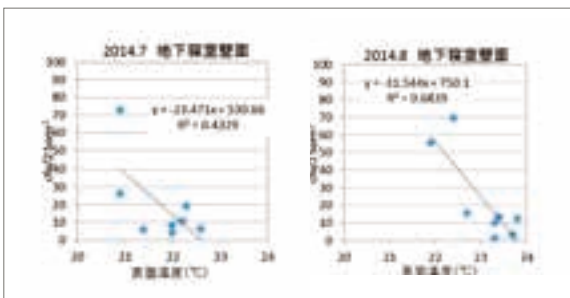


図4 表面温度と付着菌

謝辞：対象住宅の居住者の皆様、測定にご協力頂いた近畿大学の萬羽郁子先生に御礼申し上げます。

インターネットショッピングにおける商品色のイメージに関する研究

李ゼミ



飯田 萌実
Moemi Iida

服部 礼奈
Ayana Hattori

丸谷 優作
Yusaku Marutani

1. 研究目的

商品情報と流通経路の多様化の時代、インターネットを介した商品購入（ネットショッピング）がどのように利用されているのかを明らかにすることは、益々進行が予想される情報と流通革命の将来を考える上に興味ある課題である。特に、衣類は身体サイズ、デザイン（かたち、色、柄）、好みなど、購入者側の要求と情報提供内容の共通認識が問われる商品と考えられる。本研究では男女半袖Tシャツを用いて、インターネットを介した商品情報と実際の商品色のイメージを比較し、心理量と物理量に関する検討を行った。

2. 研究方法



図1 メンズ半袖Tシャツ試料23色

- 1) 同一商品で半袖Tシャツ50色をネットで購入し、色相、明度、彩度がすべて均等になるように23色を選出し、実物、画像および文字試料として用いた（図1）。
- 2) SD法によるインターネットにおける商品色のイメージに関する被験者実験：畿央大学男女40人（4回生）に一人に3つのアンケート用紙をランダムに配布し、以下

の3パターンに対し自由に答えてもらった。
①実際にTシャツを手にとって見てもらう評価
②各被験者の携帯電話を用いてTシャツの画像をみてもうらう評価
③文字によるイメージ評価

表1 SD法に用いたイメージ用語

ぐんぐんーあざやか	太く見えるー細く見える
重たいー軽い	男性的ー女性的
硬いーやわらかい	子供っぽいー大人っぽい
強いー弱い	雄的ー雌的
美しいー美しい	似合わないー似合う
新しいー新しい	下品ー上品
流行ー流行ない	平凡的ー個性的
地味ー派手	うつくしいーさびしい
着心地が悪いー着心地が良い	動きがでないー動きがくる
濃いー好みな	やばいーお洒落

表2 実物試料のL*a*b*の値および画像試料のYxyの値

試料名	L*	a*	b*	Y	x	y
白紙	99.22	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
黒紙	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
赤紙	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
青紙	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
黄紙	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
緑紙	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
紫紙	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
茶紙	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
金紙	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
銀紙	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
銅紙	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄紙	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
鉛紙	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
錫紙	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
鋅紙	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛紙	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル紙	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム紙	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト紙	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン紙	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24	13.24	25.25	0.3333	0.3333
ニッケル鋼	38.92	13.24	13.24	33.33	0.6667	0.6667
クロム鋼	82.42	13.24	13.24	72.42	0.6667	0.6667
コバルト鋼	95.12	1.11	0.49	95.12	0.3127	0.3162
マンガン鋼	39.12	-1.11	-0.49	12.38	0.0312	0.0316
鉄鋼	50.87	12.38	20.96	41.14	0.6051	0.2989
ステンレス	49.87	-12.38	20.96	41.14	0.3949	0.6011
アルミ	72.46	18.11	18.11	65.43	0.8111	0.8111
銅鋼	55.56	13.24	13.24	48.48	0.6667	0.6667
亜鉛鋼	29.37	-13.24				

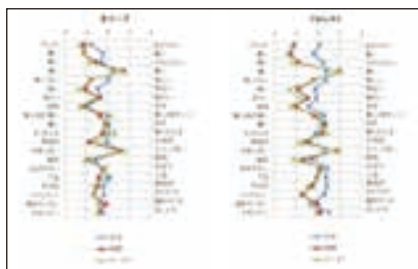


図2 イメージプロフィール

表3 レンジと偏相関係数（下段）実物

アイテム	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子
色相	0.5044	1.0198	0.8856	1.2394
	0.493	0.7064	0.5246	0.8681
明度	0.2741	0.6589	1.0654	0.5384
	0.3856	0.4706	0.8202	0.408
彩度	0.3008	0.5142	0.8651	0.7652
	0.3471	0.6252	0.62	0.5428
重相関係数	0.601	0.9172	0.9181	0.8985
決定係数	0.3612	0.8322	0.842	0.8072

表4 レンジと偏相関係数（下段）画像

アイテム	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子
色相	0.6829	1.4049	1.1404	1.1878
	0.5543	0.7491	0.5554	0.7807
明度	0.3376	0.7965	1.3085	0.6065
	0.4136	0.4387	0.7513	0.4183
彩度	0.3013	0.7252	1.1949	0.7777
	0.2954	0.5232	0.6289	0.5297
重相関係数	0.6732	0.9402	0.8685	0.9249
決定係数	0.4532	0.8839	0.7543	0.8555

表5 レンジと偏相関係数（下段）文字

アイテム	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子
色相	0.9427	1.0226	1.3393	1.1119
	0.5699	0.8272	0.7825	0.9088
明度	1.1336	0.4021	0.7281	0.5836
	0.7123	0.3722	0.5635	0.567
彩度	1.0226	0.385	0.5947	0.6925
	0.8272	0.4853	0.415	0.474
重相関係数	0.8317	0.6149	0.8874	0.9316
決定係数	0.6917	0.3781	0.7875	0.8678

4. 結論

インターネットショッピングに関する現状調査をした結果、衣類において利用する人は約3割であった。また、携帯電話による購入では男女共に過半数を占めているものの画面上でみる商品と実際に届いた商品を

見た際に色味が違ったと答えた人は男女共に約2割、またその中でも明るさ（明度）が異なると答えた男子は約6割、女子は約3割であったことから、本研究では実物、画像における商品色および文字によるイメージについて検討した。

1) 一般的な色の面積の大小による色の見え方とは異なり、本実験では画像よりも実物の方がより暗く、またより明るく見えると評価された。これは多くのインターネットショッピングサイトが行っている商品の撮影と提示方法に影響されていることが考えられる。

2) 20対の感情尺度に対する評価値を全体・男女別（実物・画像・文字）に因子分析した結果、画像（全体51.86%、男子52.00%、女子54.12%）実物（全体51.74%、男子52.21%、女子52.55%）に対し、文字（全体45.35%、男子44.75%、女子47.55%）という結果となり、それぞれの試料を見たときの感情が約45~54%の心理因子で構成される。

3) 抽出した4つの心理因子に対する実物・画像・文字試料によって影響が異なり、それぞれの試料に対して被験者は3つのアイテム（色相、明度、彩度）でおおよそ実物では36%~84%、画像では45%~88%、文字では38%~87%で試料イメージを推定する。特に、画像試料において「派手ー地味」「あざやかーくすんだ」などの第2因子は3つのアイテムでほぼ推定できる。

4) 因子得点分布図より男女ともに実物、画像および文字においてピーチが共通して評価が高く、オリーブの評価が低いことから、ピンクに比べてオリーブはイメージし難い色であった。

御所市における コミュニティカフェ開設の経緯と 運営に関する報告

齋藤ゼミ



岡本 和真

Kazuma Okamoto



倉田 恵輔

Keisuke Kurata



西島 雅峰

Masataka Nishijima



細田 大翔

Hiroto Hosoda



水ノ上 佳希

Yoshiki Mizunoue



渡辺 賢太

Kenta Watanabe

1. はじめに

本取り組みの目的は、第一に高齢者の方を対象とした「集いの場」を提供すること、第二にそこに足を運ぼうと思っていただける運営をすることである。そのきっかけは、畿央大学と御所市が包括協定を結んだことにある。御所市長の提案される「スマートウェルネス事業」¹⁾に対し、私たちは、コミュニティカフェ開設を提案した。

1-2. コミュニティカフェとは

コミュニティカフェ（以下、カフェと略す）とは、「地域社会の中でのたまり場、居場所」と定義²⁾され、高齢者や障害者への支援、子育て支援等地域コミュニティの活性化を目的とするものが多い。

1-3. 商店街周辺住民へのアンケート調査

JRおよび近鉄御所駅に近い新地商店街の空き店舗がカフェの候補となった。周辺住民の方を対象に2013年12月留め置き方式でアンケート調査を行った。配布数150件、回収は67件、回収率は44%である。

御所市の良いと思うところを複数回答で伺った。「自然が豊か」がもっとも多く、次いで「新鮮な農作物が手に入る」が続く。現在の生活で困っていることは「日常の買い物に不便である」がもっとも多く、「レジャー、娯楽施設が少ない」が続く（図1・2）。

御所は住みやすい町ですかとの問いに「住

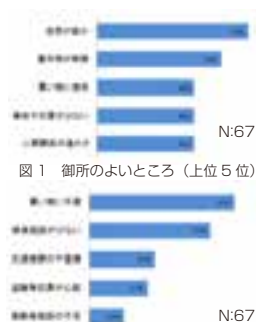


図2 困っていること（上位5位）

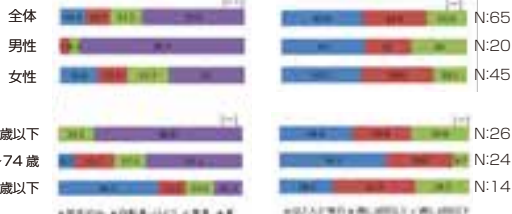


図5 近所の人達との会話の頻度

みよい」「まあ住みよい」をあわせて70%を占め、多数の方が住みやすい町だと思っておられることが分かる。

外出手段を尋ねた。より広域化が図れる手段で図示した(図4)。車の利用がもっとも多く、男性では90%が、64歳以下では80%が主な外出手段は車である。一方、女性や後期高齢者は、車利用は少ない。徒歩圏のみが女性の20%、75歳以上の54%となっている。

近所の人との会話は「ほとんど毎日」43%「週に2回以上」35%と近隣の豊かなコミュニケーションの様態が浮かび上がる。しかし男性では3割が週1回以下(殆ど話さないを含む)、年齢別では、75歳以上の28.5%が週1回以上との結果となっている。

2. つどいの場としての空間づくり

2回に渡って測量を行い、図面を作成した。その後、計4回に渡り改装案のコンペを行った。最終的には、改装する場所は、床と壁とし、床は、昔の学校の教室をイメー

ジし、Pタイルの床にヒノキの板を打ち付ける。壁の改装は、黒ずみ汚れを隠すため塗装することになった。また、飾り柱を目立たせるため白の漆喰ペンキを使うことにした(図8・9)。

壁塗りは、まずハイターで汚れをおとすことから始めた。次に、飾り柱、床に養生テープを設置し、ハケ、ローラーで漆喰ペンキを塗った。下から上に塗りつけ、端やコンセントなどの細部はハケを使用した(図11・12)。

床張りは、Pタイルの床に墨打ちをし、墨に合わせて根太を置き、ドリルで根太と床に穴を開けた。開けた穴にインパクトを使いビスで固定する。床材には4種類の長さの桧の板を交互に使う。当て木を用い隙間なく床材同士を押し付ける。タッカーを使い固定する。最後に塗料を塗り作業が終了した(図13~17)。

床張りに使用した道具のうち、電動のこぎり、パワードリル、インパクト、タッカー等は丸田工務店よりお借りし、同時に使い方の指導も受けた。



図6 商店街入り口



図7 旧上田洋品店正面



図15 ビスで根太を固定



図16 床張りの様子



図8 2回目の測量



図9 改装案発表の様子



図17 床張り完成

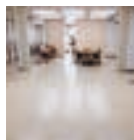


図10 改装前



図11 塗装中



図12 細部はハケで



図18 リフォーム前

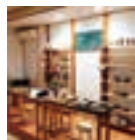


図19 カウンター部分



図13 墨打ち

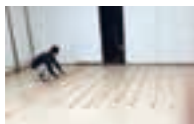


図14 根太を置く



図20 現在の全景

何とか、8月22日のオープンイベント「落語会」までに間に合わせることができ、翌週29日までに、カフェ仕様にした。

家具等は地域や大学関係者の方からいただき、足りないもの(カウンター、机、イス、看板、黒板等)は学生の手作りである。床や壁の改装はプロに手によると思われる方が多いが、学生がしたと言うと驚かれる。

「きれいにしてくれてありがとう」とお礼を言っていただけでも多い。現在は、図19・20のようにになっている。

3. 足を運んでいただける運営

8月22日のオープン以降多くの方のご協力をいただき多彩なイベントを開催した。図21～図26にその一部を記載する。



図21 落語会



図22 SATシステム



図23 談話にナラン体操



図24 男祭り



図25 ステンシル教室



図26 太極拳

利用者数は、オープン4ヶ月半で延べ人数は480人程度である。役所、大学関係者を除き、実人数は約150人程度ではないかと推測する。

2回目から配ったスタンプカードの発行が118枚で、回収18枚(スタンプ5個を集めて粗品と交換)なのでおおよそ100人の方にスタンプカードを配布した。オープ

ニングイベントの落語会のみのお出席者が30人程度だと見込まれる。

表1 来場者数の推移



8/22～1/9まで4ヶ月半の
延べ人数 481人
実人数 150人程度



図27 スタンプカード

4. 子どもたちとの関わり

当初企画していた子どものまちづくり参加を変更し、園児、児童と学生がカフェで使用する物を作成することにした。園児とはコースター作りをし、児童とは、一緒に御所の歴史等を学び、学んだ内容をランプシェードに表現した。

カフェは、主に高齢者の方を対象と考えているが、そこに地元の園児や児童が作成した物があれば、異年齢の交流の広がりとなると考えた。



図28 コースター制作中

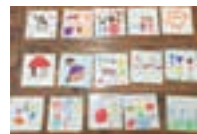


図29 完成品



図30 作業風景



図31 ランプシェード完成

5. まとめ

カフェにはどのような方が来られたのかを知るための調査を実施した（11月21日～1月21日）。開始時期が遅く、33人分に留まった。周辺住民の方と比較すると、性別は女性が圧倒的に多い。男性を増やすために男祭りとしたイベントを実施したが、芳しい成果をあげることができなかった。年齢層として前期高齢者が全体の60%を占める。利用時間が、平日10時～15時であり、現役世代が来にくい時間であると思われる。75歳以上の参加がもっと増えてほしいところである。家族形態は「一人暮らし」と「夫婦のみ」の少人数の家族形態が多く、周辺住民に多い拡大家族が少ない結果となっている。

利用目的は「イベントに参加する」と「お茶を飲み」が同率に高い。大学が提供するイベントへの参加という目的意識的に来る方と、野菜を購入したついでに立ち寄りた方とに分かれるものと推察される。

カフェに来て良かったことは「学生と交流が出来た」がもっとも高く、「人と話をした」が続き、他者との会話を挙げている方が多い。一人暮らしの方は「外出のきっかけとなった」が同率2位であり、カフェの存在が、歩いて出かけるきっかけとなり、人との会話を生み出していることが理解できる。

私たちがカフェに行くより早く来て待つて下さっている方や「よっぽどの用事がない限り金曜はカフェに来るよ」と話して下さる方もおられ、私たちが意図した「高齢者の居場所」として一定の成果を挙げることができているのではないかと自負するものである。

最後に、このような機会を与えていただき、また、ご協力をいただいた皆様に心から感謝を申し上げる。

- 1) 自律的に「歩く」ことを基本とする「健幸なまち」を構築することで体を動かす人が増え、先進予防型社会を作り、地域活性化に貢献することを目指すもの。
- 2) 情報誌「ふれあいネット」

N:67



図 32 商店街周辺住民へのアンケート結果

N:33

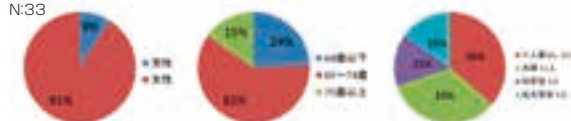


図 33 カフェ利用者へのアンケート結果

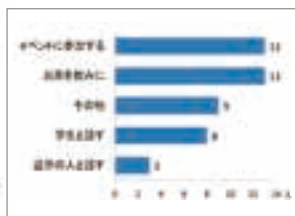


図 34 カフェを利用する目的（複数回答）

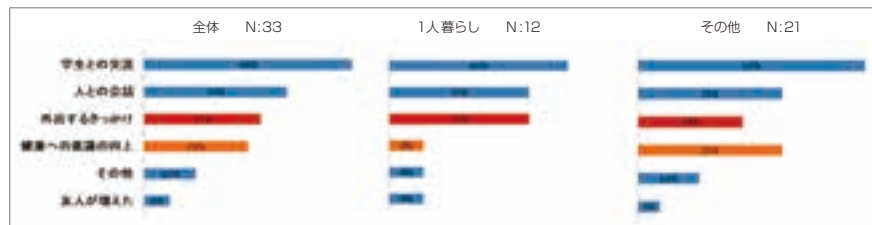


図 35 カフェに来て良かったこと（複数回答）

高齢者の熱中症対策に関する研究 ～意識調査と温熱環境・皮膚温測定～

東ゼミ



奥野 勇也
Yuya Okuno



中田 冬馬
Toma Nakata

1. 研究背景と目的

近年夏期の熱中症による被害が多く報告され、特に熱中症弱者と呼ばれる高齢者はその症状が重症化する割合が高い。本研究は高齢者の日常生活に着目し、熱中症に対する意識と生理反応の点から、熱中症予防に対する対策のあり方を検討することを目的とし、アンケート調査と温熱環境・皮膚温の実測調査を実施することとした。

2. 意識調査アンケート

研究協力や情報提供による暑熱対策や熱中症に対する意識の変化を確認するため、追調査を実施した。

【対象者】

2012・2013年に熱中症への意識調査および住環境測定に協力して頂き、結果を提示した健康な高齢者51名（男性25名・女性26名）

【調査方法】

自記式の質問紙調査とし、集合法と留め置

き法による郵送配布・回収を併用した。

【調査期間】

2014年8月

【調査項目】

対象者属性、日常生活習慣、熱中症への意識、住宅の温熱環境、熱中症対策として実践できること等

【結果】

過去の調査と比較して、喉が渇かなくても定期的に水分補給する人がやや増加した（図1）。男性はスポーツドリンク飲む人が増加し、アルコールは減少していた。高齢者は冷房機器の使用に積極的でない傾向があったが、追調査の結果、暑熱対策としてエアコンを使用する人が増加した（図2）。熱中症対策の実践については全体的に女性のほうが積極的であり、日傘の使用や就寝前の水分補給等に有意差がみられた（図3）。他にも暑熱対策に対する意識や行動の変化がいくつか確認され、情報提供の効果がうかがえた。

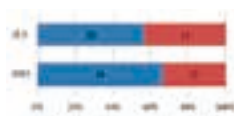


図1 水分摂取の仕方



図2 居間のエアコン使用

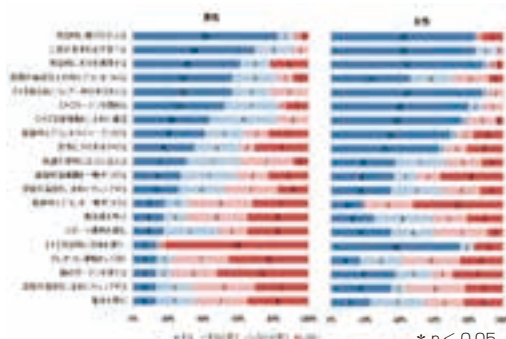


図3 熱中症対策として実践できること

* $p < 0.05$

3. 若齢・高齢者の温熱環境と生理反応

夏期の日常生活環境下の若齢者と高齢者の温熱環境・皮膚温を測定し、両者を比較した。

【対象者】

健康な男子大学生10名(19-22歳)

健康な男性高齢者6名(65-82歳)

【調査期間】

若齢者:2014年7月29日～8月2日

高齢者:2012年8月17日～28日

いずれも連続した3日間で測定を行った。

【測定項目・方法】

皮膚温〔Ramanathan4点法:胸・腕・大腿・下腿〕、周囲温湿度、活動量をサーモレコーダー・ライフコーダにより各2分間隔で自動計測し、生活行動と温熱的主観評価を記録表に記入してもらった。

【結果】

生活環境下における温熱環境の違いを WBGT 値の結果でみると(図4)、高齢者は若齢者と比べて WBGT の厳重警戒域や危険域等の高温環境下で生活する人が多く、またその温度域の滞在時間も長いことから、暑熱環境を避ける行動性体温調節が不十分であると考えられた。

暑熱環境下において、高齢者は若齢者より皮膚血管拡張反応の低下が体幹部より四



図4 年代別 WBGT 活動割合

肢、上半身で顕著であること、発汗量の低下が体幹部より四肢、下半身で顕著であるといわれている。年代別に周囲温度と部位別皮膚温平均値の関係を図5でみると、高齢者は胸部の変動幅が大きく、部位ごとの温度差が小さい傾向がみられた。

また、大学生と比べ高齢者は自宅での生活時間が長く、温度は個人の感覚で管理される。温冷感申告をみると暑熱環境を許容する傾向があり、エアコン使用時間も短く、熱中症発症数増加の要因のひとつと考えられた。

4. まとめ

高齢者の熱中症予防のためには、適切な情報提供を行い、温熱環境整備の重要性を認識してもらうことが大切であると考えられた。

文献:日常生活における熱中症予防指針 Ver3 確定版 日本生気象学会

謝辞:本研究にご協力いただいた被験者の皆様、共同研究としてご指導頂いた奈良女子大学 磯田憲生先生、久保博子先生に御礼申し上げます。

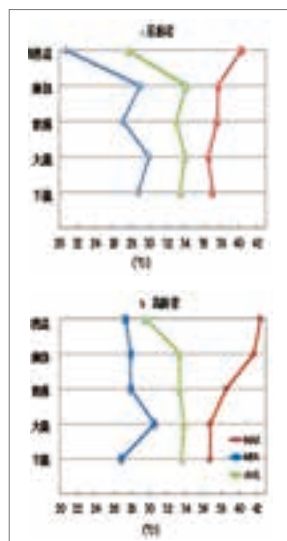
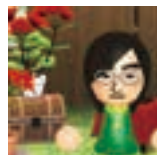


図5 年代別部位別皮膚温の平均値

プランニング過程に接近するための ロール・プレイング・ゲームの開発と測定



高 薫子
Yukiko Taka

金敷ゼミ

1. 目的

複数の行為の遂行についての、プランニングの認知過程を明らかにするために、ロール・プレイング・ゲーム（RPG）を開発し、ゲーム内での行動ログを記録し、分析する。

2. 実験

実験条件 時間圧力条件、統制条件の参加者内1要因2水準。

実験参加者 15名。

実験装置 “RPG ツクール vx ace”（角川

ゲームス）で開発した“みくお”を操作する“お使い課題”を用いた。空間配置は101～110号室の10室であった（図1）。

課題

(1)

104号室、廊下のクリスマスリースを室内に片付ける。

(2)

106号室内、テーブルの上の残飯を4皿集め、部屋右上ゴミ箱に捨てて、ゴミ箱のふたを閉じる。

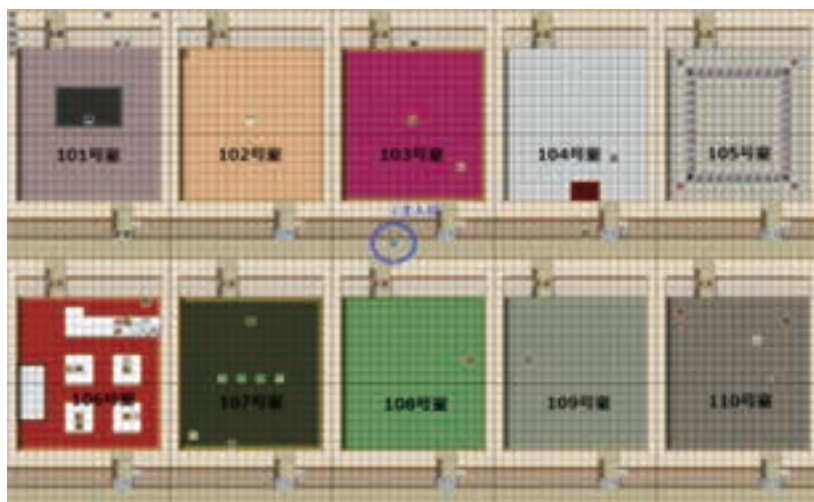


図1 ゲーム内の全体マップ

(3)

107号室内、部屋左下オーブを操作して、レーザーの電源と主電源を切る。

(4)

102号室内、クリスタルを部屋左上に押し移動して、クリスタルのスイッチを切る。

(5)

101号室内、中央部の電源スイッチを切って建物全体を消灯する。

の5つのタスクであった。これらがメモ用紙に印刷され、参加者はそれを見てゲームを行った。タスクを行う順番を変えてもよい、と参加者は教示された。

手続き 個人実験。実験条件の順序は参加者間で相殺された。時間圧力条件では、ゲーム内時間の12月26日午前5時に5つのタスクを完了させ、統制条件では午前2時までに完了させるよう参加者は求められた。

なお、実験条件を行う前に、コントローラーの操作や部屋の位置などを把握してもらうためのテストプレイを行ってもらった。

3. 結果と考察

相関係数の結果のみをここでは報告する。教示との関係でプランが生じているかどうかを明らかにするために、スピアマンの順位相関係数を教示順序と参加者の実行順序との間で算出した。その結果、参加者の平均(SD)は時間圧力条件で.033(.502)、統制条件で-.047(.550)とほぼ無相関であった。教示の正順でたどる者と逆順でたどる者がいたため、分散が極端に大きくなっていた。そこ

で、各参加者ごとに相関係数の絶対値をとって平均を出したところ、時間圧力条件で.406(.295)、統制条件で.460(.305)であった。いずれも有意な相関ではなく、条件間の差も見られなかった。

参加者の実行順序が、部屋番号という数字の手がかりにしている可能性があったので、スピアマンの順位相関係数の絶対値(正順・逆順)を部屋番号と参加者の実行順序との間で算出した。その結果、参加者の平均(SD)は時間圧力条件で.433(.227)、統制条件で.647(.265)であり、統制条件の相関が時間圧力条件の相関を有意に上回っていた[$t(14) = 2.85, p < .05$]。部屋番号との相関の絶対値も有意ではないが、時間に余裕のある統制条件においては、部屋番号の正順あるいは逆順にたどる傾向が高く、プランらしきものが見られるように思われる。

4. 総括

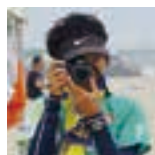
本研究のプログラムは開発途上であるために、クリアな結果は見られなかった。とはいえ、人のプランニング過程に接近していくことは可能であると結論づけることができる。

プランニングを測定するためには、ゲームにおいて参加者が静止している状態の時間を測定できる必要がある。その際に、参加者がプランを立てていたり、プランの修正を行っていたりする可能性があるからである。

その他、ゲーム全体の空間について、各タスクの難易度についての調整も今後さらに洗練する必要がある。

夏期における寝室環境と睡眠の質に関する研究

東ゼミ



永尾 一祥
Issyo Nagao



六車 拓也
Takuya Rokusya

1. 研究背景と目的

睡眠の質の確保は健康を維持するうえで欠かせない。日本人の睡眠の季節差みると、盛夏の7～8月に有意に短いといわれており、さらに近年では熱帯夜が増加傾向にあり、夏期における睡眠の質が年々落ちているのではないかと考えた。そこで、大学生の夏期における睡眠の実態と就寝環境、日中の活動状況を調査し、睡眠の質向上を目的に研究を行うこととした。

2. 測定概要

【測定項目】

①活動量⇒ライフコーダ GS（スズケン）

②睡眠状態⇒FS-750（エステラ）

③室内環境

室内照度・紫外線強度⇒サーモレコーダー RS13L（エスベック）…床上約70cm机上面
室内温湿度・CO2濃度⇒CO2レコーダー THC02（エスベック）…枕元に設置

④主観評価アンケート⇒OSA睡眠調査票 MA版、生活行動記録表、起床時アンケート等

※活動量、睡眠状態、室内環境は2時間隔の自動計測とした。

【被験者】

健康な男子大学生20名

【計測場所】

被験者自宅の寝室

【計測期間】

2014年8月12日～9月16日の連続した3日間

3. 結果

3.1 睡眠時間

被験者の睡眠時間は4時間から10時間で、平均は7.3時間であった。うち2名は夜型の生活をしていた。

3.2 運動・活動量

被験者 No.3、4、7、11、13、15、18、20は速歩運動レベル以上の活動の割合が多い。対照的に被験者 No.1、2、5、6、9、12は一日を通して運動強度分布の大半を微小運動が占めていた（図1）。運動強度が7以上はスポーツレベルの運動をしていたと考えられ、その検出回数によって、運動群と非運動群に分類することができた（図2）。

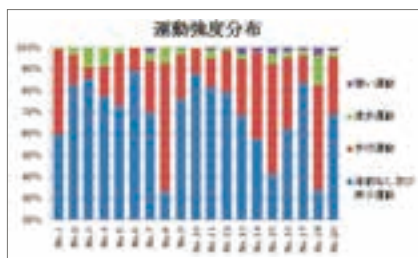


図1 運動強度別検出割合

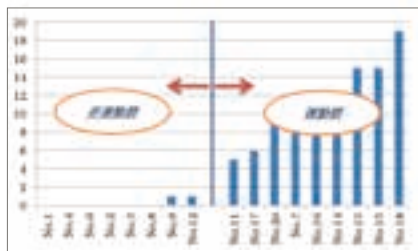


図2 運動強度7以上の検出回数による分類

3.3 睡眠時の環境

睡眠時の平均温度をエアコンの使用状況別にみると、エアコンありは夏期の寝室の環境として推奨されている $26 \pm 2^{\circ}\text{C}$ の範囲に近かった (図3)。また、30分平均値の経時変化を比較すると、就寝後30分、1時間において有意傾向 ($p < 0.1$) が認められた。二酸化炭素濃度は終夜において有意差 ($p < 0.05$, $p < 0.01$) があり、換気不足による空気質の悪化が明らかとなった (図4)。

3.4 睡眠実態・睡眠の質と影響要因

OSA 睡眠調査票 MA 版の合計得点の平均値は241点で、全体的に運動群のほうが高得点であった (図5)。

運動強度7以上の検出回数により分類し、OSAの合計点の平均を比較すると、運動群において有意に得点が高かった ($p < 0.05$)。また、20代男性の平均歩数を基準に被験者を分類して比較した場合、平均以上の群の得点が高く有意傾向 ($p < 0.1$) がみられた (図6)。

今回の実測条件の範囲においては、寝室の温熱・空気環境とOSA合計点には個人差が大きく、明らかな関係性は確認できなかった。

4. まとめ

今回の環境条件の範囲では、夏期における大学生の睡眠の質向上には日中の活動が効果的であり、特にスポーツレベルの運動の影響が大きかった。

文献：山本、田中、高瀬、山崎、阿住、白川：中高年・高齢者を対象とした OSA 睡眠感調査票 (MA 版) の開発と標準化．脳と精神の医学 10:401-409, 1999.

謝辞：本研究にご協力いただいた被験者の皆様、共同研究としてご指導頂いた奈良女子大学 久保博子先生に御礼申し上げます。

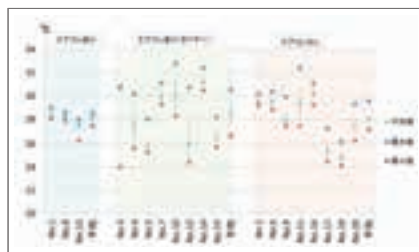


図3 エアコン使用状況別平均温度

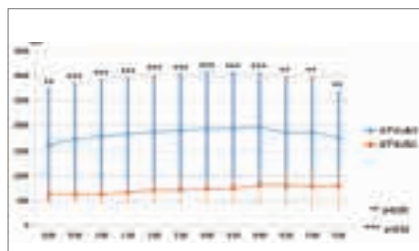


図4 エアコン使用状況別二酸化炭素濃度経時変化

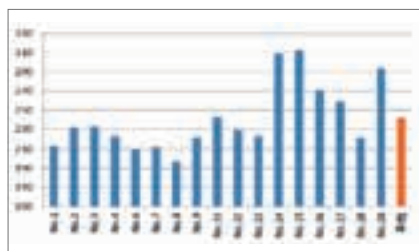


図5 OSA 睡眠調査票 MA 版合計得点

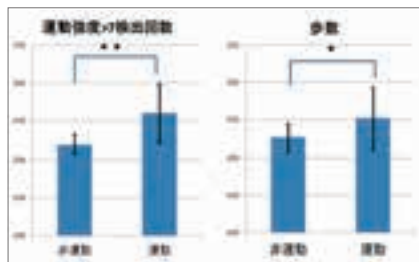


図6 運動群・非運動群別の OSA 合計得点

** $p < 0.05$ * $p < 0.1$

大学生の部屋の壁紙に対する 評価の研究 ～色相・明度・彩度による評価～

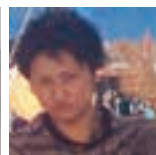
李ゼミ



野口 廉太
Rendai Noguchi



日向 稜
Ryo Hyuga



山本 洋三郎
Yozaburo Yamamoto

I. 研究目的

住宅をはじめ多くの建築物の室内空間に壁紙が用いられ、その用途には素材、デザイン、色彩、機能などが考慮される。室内装飾品を意味するインテリアには内装材（壁紙、床材、カーテン、カーペットなど）と家具、照明器具、ドア、間仕切りなどの構成要素が含まれる。その内装材のなかで壁紙は最も面積が大きく、住宅における壁紙は快適な住生活のための空間形成に大きく影響している。本研究では、住まい空間と密接に関係している壁紙を選定する際、その素材や色彩の模様と関わる感情効果とデジタルカタログ（カタラボ）の関連性を明らかにすることを目的とし、視覚と触覚、また、視覚のみの刺激が官能評価にどのように影響を及ぼすのかについて見本帳、デジタルカタログ、実物を用いて検討を行う。すなわち、大学生における自分の部屋の壁紙を選定する際、用いられる刺激によってどのような感情が生起するのか、刺激側の物理量とヒトの官能量を明らかにする。

II. 研究方法

1. 壁紙サンプル選定

① SINCOL BIGACE BA5001-5600 BTA5701-5843 のカタログのサンプルを KONICA MINOLTA:CL-2000 を用いて測定し、色相、明度、彩度、模様から 35 枚の試料を選定した（表 1）。

表 1 研究試料の詳細

品番	模様	色相	明度	彩度	実測	評価
S011	無地	6.25	7.45	4.43	あり	普通
S012	無地	4.88	8.25	2.25	なし	なめらか
S013	横	5.18	7.25	2.37	あり	普通
S014	無地	5.21	8.05	0.54	なし	普通
S015	無地	1.03	7.43	11.12	なし	なめらか
S016	無地	0.53	8.3	4.35	なし	普通
S017	無地	5.35	8.32	1.22	あり	普通
S018	無地	5.25	4.4	1.22	なし	なめらか
S019	無地	3.11	8.55	3.14	なし	強い
S020	無地	5.05	7.15	0.34	あり	普通
S110	横縞	7.11	9.3	0.55	あり	強い
S111	無地	7.03	8.12	1.1	なし	強い
S112	横	4.23	9.3	0.82	なし	普通
S113	無地	3.05	7.17	0.2	あり	普通
S114	無地	5.13	8.35	0.54	なし	なめらか
S115	無地	7.31	8.85	1.22	なし	普通
S116	無地	0.43	10.2	1.23	なし	強い
S117	横	7.11	9.14	0.31	なし	なめらか
S118	無地	7.21	8.3	0.25	なし	普通
S119	縦縞	9.11	9.03	0.31	なし	強い
S201	無地	7.21	9.25	0.85	なし	強い
S202	無地	4.55	8.84	1.13	なし	強い
S203	横縞	7.31	9.14	0.85	なし	普通
S204	無地	1.01	8.84	0.25	なし	なめらか
S205	無地	5.13	7.11	0.33	あり	なめらか
S206	横	7.11	8.85	0.31	なし	なめらか
S300	無地	5.05	5.25	5.53	なし	強い
S311	無地	7.31	8.85	1.02	なし	強い
S312	横縞	7.01	9.14	0.31	なし	強い
S313	無地	4.61	7.43	2.53	なし	強い
S314	横縞	4.01	8.85	1.21	なし	普通
S315	横	2.41	8.11	0.31	あり	普通
S316	無地	7.31	8.85	1.83	なし	強い
S317	無地	7.51	9.11	0.33	なし	強い
S318	無地	0.41	8.3	1.63	なし	強い

2. 研究試料作成

①製作した見本帳：大手壁紙会社が配布している見本帳に基づき、縦 27cm × 横 30cm の白のスチレンボードに縦 5.5cm × 横 6.5cm 壁紙を 4 枚貼り付け、オリジナル見本帳とした。

②画像による見本帳－デジタルカタログ：インターネット上に掲載されている、デジタルカタログ（カタラボ）をタブレット端末の画面上で 1 枚ずつ提示した。

③ベニヤ板に施した 910mm × 910mm

の実物試料：1,820mm × 910mm のベニヤ板に910mm × 910mmの壁紙を表裏二枚ずつ、壁紙を貼り付けて作成した。

3. 室内空間の設定

大学生の部屋を想定し約6畳で天井・壁紙はともに白系である。照明は一般的に用いられる蛍光灯にし、常に1,000lx程度を維持した。

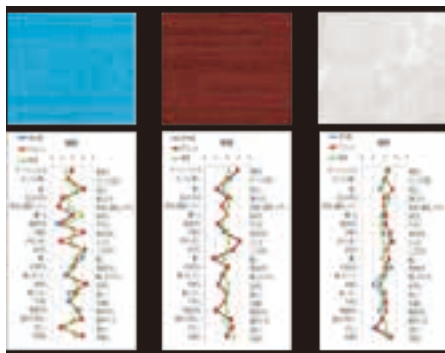
4. 壁紙に対する評価

表2 SD法に用いたイメージ用語

暖かい・温かい	清々しい・涼しい
柔らかい・優しい	爽やかな・明るい
清潔感・清潔	落ち着く・落ち着いた
開放的・開放	自然な・自然な
開放的・開放	開放的・開放
開放的・開放	開放的・開放
開放的・開放	開放的・開放
開放的・開放	開放的・開放
開放的・開放	開放的・開放
開放的・開放	開放的・開放

Ⅲ．結果と考察

1. イメージプロフィール



2. 因子分析結果

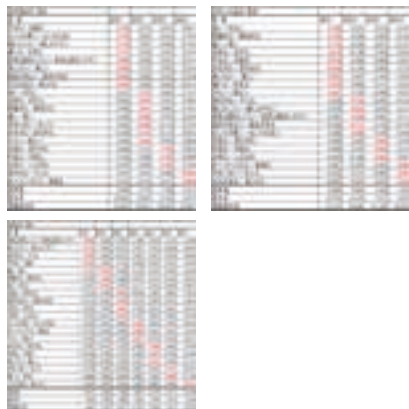
男女（全体）において見本帳・タブレットが4因子、実物が7因子という結果になった。また累積寄与率はそれぞれ、見本帳47.43%、タブレット48.28%、実物35.95%となった。

3. 分散分析結果

幾何学模様は研究試料が異なると判断も大きく異なる。面積量の変化、光の条件の変化が影響していると推測される。「好きー嫌い」「センスの悪いーセンスのよい」の評価

性に関する形容詞項目は大半の試料に有意差は見られない。壁紙を選定する際、見本帳・タブレット・実物、どの試料においても評価性に関する判断は変わらず、見本帳で好きと判断したものは実物にしても好きと判断する傾向が見られた。

表3 因子分析結果



Ⅳ．まとめ

本研究では色相・明度・彩度それぞれが壁紙にどのような影響を与えるのか、3つの研究試料（見本帳・タブレット・実物）によって比較を行った。イメージプロフィール、因子分析、分散分析結果からすべての研究試料において第1因子、第2因子である「評価性」「開放感」が高く評価され、「評価性」「開放感」は壁紙を判断する際に被験者が重視する傾向が見られた。また、見本帳から実物に変わると、模様に関するイメージが大きく変わる。無地は研究試料が異なっても影響は少ないが、幾何学模様などは実物になって面積が広くなるとイメージが大きく変わり、滑らかに感じる傾向がみられた。見本帳で凹凸が強いと評価した壁紙でも実物では滑らかに感じる傾向が見られたことから、凹凸の強い壁紙を選定する際には注意が必要である。

擬態語からの色への連想に関する探索的研究 ー色相およびトーンへの連想とそれらの意味構造ー



藤原 美紅
Miku Fujiwara

金敷ゼミ

1. 目的

擬態語の色彩印象(色相・トーン)、上位概念の影響があり得るのかどうかを明らかにする。なお、本作品集では、調査2のみを報告する。

2. 調査2

被調査者 学生および成人、色相 208 名、トーン 203 名分のデータが有効回答であった。

調査項目 予備調査および調査1より厳選した擬態語 40 語であった。

手続き 質問紙を被調査者に配布し、調査項目の擬態語から連想して思いついた色相概念(11+ 無彩色)あるいはトーン概念(12+ 無彩色)に相当する選択肢すべてに丸をつけてもらった。

3. 結果と考察

色相については、擬態語×色相概念のクロス集計表を作成した。クロス集計表の度数に基づいて、擬態語 40 語、および無彩色を除いた色相概念 11 に関して、コレスポンデンス分析を行った。トーンについては、同様にクロス集計表を作成し、コレスポンデンス分析を行った。

色相については、横軸上には、一方の側にはかっか、むかむかといった単語、もう一方にはうっとり、やんわりといった単語

が布置されたことから、興奮ー沈静の次元と見なすことができる。縦軸上には、一方の側に青・紺・緑、もう一方には赤・オレンジ・黄が布置されたことから、これは寒いー暖かい(寒色ー暖色)の次元と見なすことができる。

トーンについては、横軸上には、一方の側にはビビッド・ストロング、もう一方にはグレイッシュ・ライトグレイッシュ・パールが布置されたことから、これは彩度の次元と見なすことができる。縦軸上には、一方の側にはパール・ソフト・ライト、もう一方にはダーク・ダークグレイッシュ・グレイッシュが布置されたことから、これは明度の次元と見なすことができる。

4. 結論とデザインへの示唆

色を連想する擬態語に限って言うならば、人は擬態語から色相概念あるいはトーン概念を直接連想しているのではなく、擬態語から連想される意味(=上位概念?)から、色概念への連想を行っていると推測される。また、擬態語から色相を連想する際に大ざっぱな方向付けが行われ、その後トーンの絞り込みが行われていく、ということが推測される。この種の調査は、専門家・素人のお互いが思うイメージを翻訳して橋渡しできる点で、デザインに有益であると考えられる。

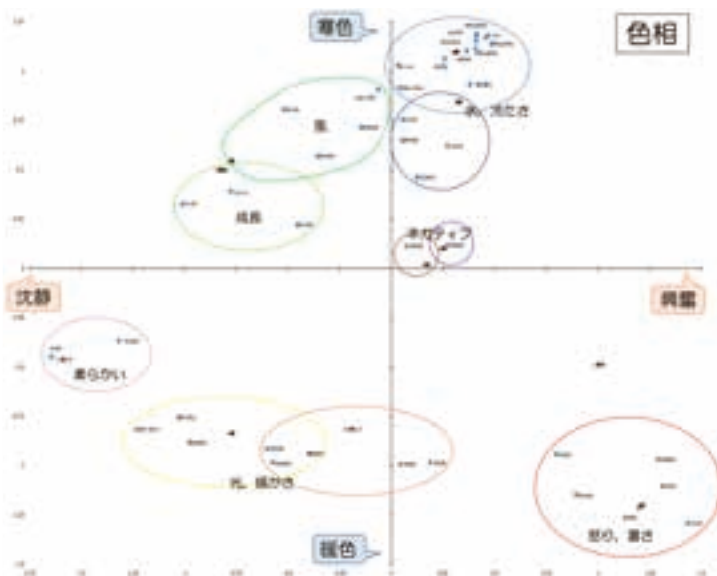


図1 色相概念のコレスポンデンス分析に基づく2次元空間表現

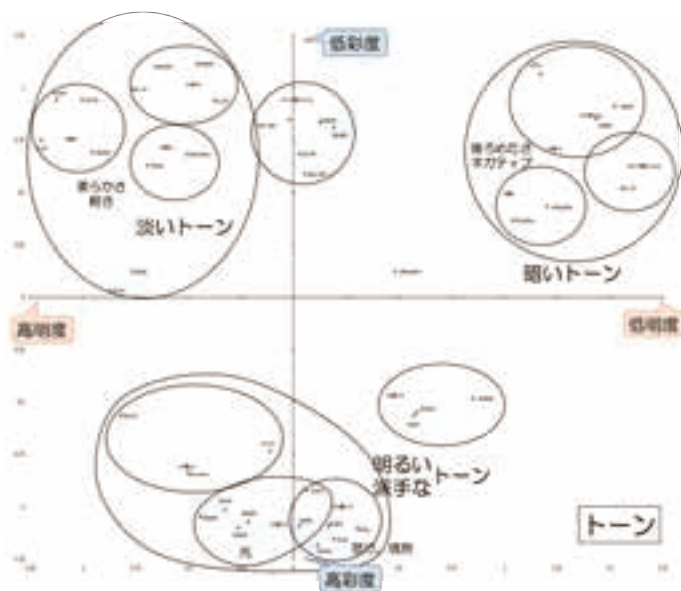
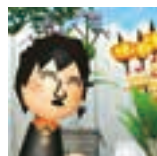


図2 トーン概念のコレスポンデンス分析に基づく2次元空間表現

フレーザー錯視とツェルナー錯視の錯視量に及ぼす交差角の影響について—調整法による検討—

金敷ゼミ



伊藤 慶輝
Yoshiaki Ito

研究の目的

フレーザー錯視は主線と誘導線との交差角の鋭角過小視、ツェルナー錯視は鋭角過大視の錯視である。北岡¹⁾の仮説ではフレーザー錯視とツェルナー錯視とは別々の知覚メカニズムが働いており、 10° 前後まではフレーザー、それ以上 $\sim 40^\circ$ 前後まではツェルナーが優位に働くという仮説を提出した。本研究の目的は、交差角の要因を操作し、北岡の仮説を検証する。実験1のみを紹介する。

実験1

実験参加者 15名

材料 図1の通り(15cm)。上下に錯視図形を10cm間隔で平行に配置したものを印刷した。印刷物の中央部にOHPに印刷した調整用の黒い棒をピン留めした装置を作成した。黒い棒を回転させて主観的等価点を求めるものであった。

手続き 個人実験であった。参加者は各条件について、主観的等価点(平行)を調整した。統制条件(上下も黒い棒)が一番先に行われ、その後の12条件は参加者間で相殺された。

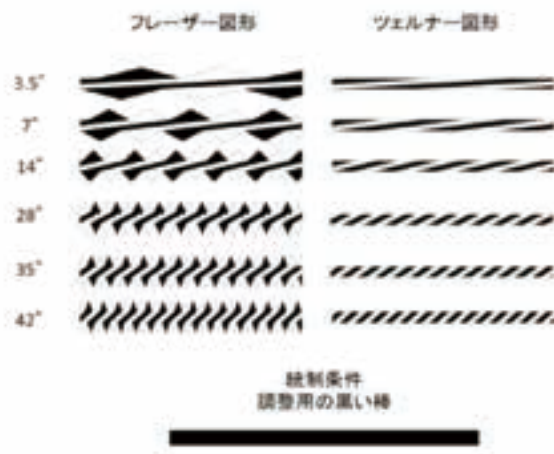


図1 実験材料

結果と考察

主観的等価点から錯視量を算出した(図2)。各条件の錯視量について統制条件との間の検定を行った。その結果、フレーザー図形 35° [t(14) = 2.28, $p < .05$]、フレーザー図形 42° [t(14) = 2.71, $p < .05$]、フレーザー図形 28° [t(14) = 1.98, $p < .07$] で鋭角過小視が有意(傾向)であった。ツェルナー図形 7° [t(14) = 2.47, $p < .05$]、ツェルナー図形 14° [t(14) = 4.00, $p < .01$] で鋭角過大視が有意であった。この結果は、北岡¹⁾の仮説とは逆の結果となった。

この結果がなぜ生じたのであろうか。理由の1つとして、誘導線の本数がある。本研究では誘導線の本数を 4.5mm と固定したため、交差角の変化に比例して誘導線の本数が変化したのである。本研究で用いた図形のように、他の要因が交絡するため、交差

角の要因だけを単独で取り出すことは困難であったのである。

今後の課題

本実験では北岡の知見である錯視は再現されなかった。とはいえフレーザー錯視とツェルナー錯視が同時に見られる交差角はなかったために、図形の要因によっていずれかの錯視メカニズムが優位に機能するという北岡¹⁾の仮説はある側面では妥当ではないかと考えられる。

本実験の結果が逆に出ることについて、多くの要因をカバーする図形を作成してさらに実験する必要がある。

文 献

1) 北岡明佳: 方向の錯視 後藤倬男・田中平八(編) 錯視の科学ハンドブック, 東京大学出版会, pp. 136-153. (2005)

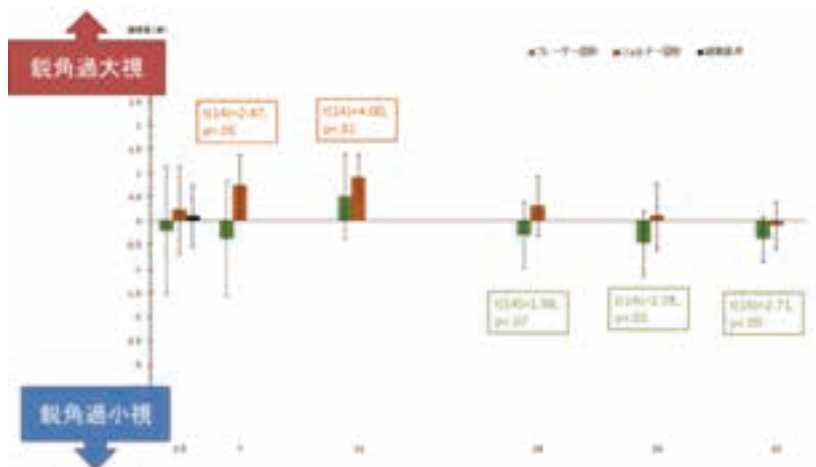


図2 図形・交差角の関数としての錯視量(実験1)



各卒業研究ゼミのテーマ

- | | |
|-------|---|
| 東ゼミ | 生活環境学・住居学・人間工学 |
| 加藤ゼミ | インテリアデザイン 住宅設計
家具デザイン 店舗デザイン
環境デザイン |
| 金敷ゼミ | 認知心理学 |
| 斉藤ゼミ | 福祉のまちづくり・住居学 |
| 中山ゼミ | ユニバーサルデザイン
インテリアデザイン
プロダクトデザイン |
| 藤井ゼミ | 住宅・建築・都市等の建築関連分野 |
| 三井田ゼミ | 建築・まちづくり計画 |
| 村田ゼミ | 被服学 生活科学 |
| 李ゼミ | 色彩学
インテリア・エクステリアにおける
色彩計画 |







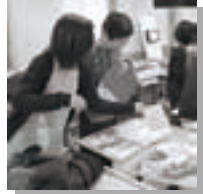
畿央大学 健康科学部 人間環境デザイン学科 第9回 卒業研究講評会

全体発表会 2015年2月12日 9:00～15:30

選抜発表会 2015年2月13日 13:00～17:00

会場：L101教室





選抜発表者：

荒尾 尚樹

岡本 和真

倉田 恵輔

西島 雅峰

細田 大翔

水ノ上 佳希

渡辺 賢太

笠井 草太

関谷 優里

菅野 のぞみ

窪田 優里

坂谷 千紘

瀧井 朋子

竹嶋由加里

三木愛伽

藤田 則嗣

松原 崇晃

吉崎 菜月

葭谷 舞美

吉田 由加

以上

20名 13グループ



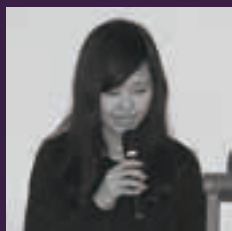


平成26年度

卒業研究

学長賞

瀧井 朋子



優秀賞

荒尾 尚樹

窪田 有莉

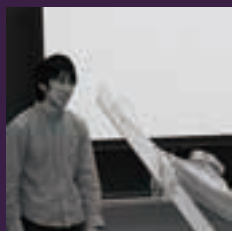
坂谷 千紘

竹嶋 由加里

三木 愛伽



以上 6 名5グループ







2014年度畿央大学 健康科学部
人間環境デザイン学科

卒業研究・作品展

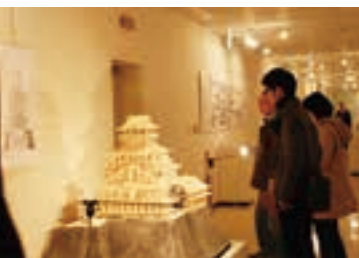
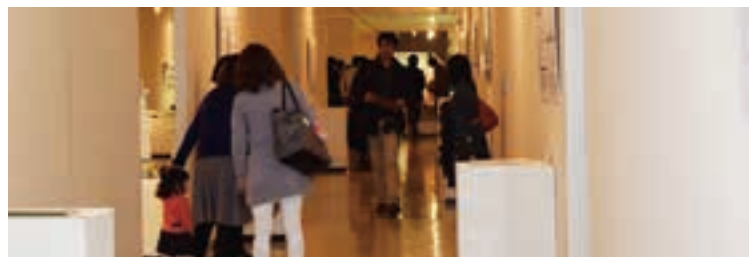
会場：奈良県文化会館

会期：2014年2月28日(土)

10:00~18:00

3月1日(日)

10:00~16:00



たくさんのご来場
ありがとうございました。

講 評

自分の作品に自信を持って

2014年度人間環境デザイン学科の卒業研究・作品発表会を見せてもらいました。今年はどんな作品に出会えるかなと、わくわくしながら会場の教室へ出かけました。期待通りの出来栄でした。斬新なアイデアと遊び心。皆さんは苦労しながらも楽しんだことでしょう。それぞれの作品には一人ひとりの工夫と努力が詰まっています。どうか自分の作品に自信を持ってその成果を発信してください。そしてこの思い出とともに元気よく社会へ羽ばたいてください。皆さんの姿をこれからも見守っていきたいと思っています。

健康科学部 学部長

金子 章道

大学4年間の集大成として、卒業研究を終えて、充実感に満たされた人はいるだろうか。ほとんどの諸君はやり残したことへの後悔やむなしさを憶えているのではないだろうか。

かといって、時間を戻し、卒業研究をやり直すことはできない。諸君は、これから社会に出て、それぞれの立場、役割の中で切磋琢磨してほしい。

かの吉田松陰は、萩城下に小さな私塾を開いた。わずか二年ばかりの間に、多くの人材がその塾で学び、日本に明治維新をもたらした。その松陰の言葉を諸君へ送りたい。

曰く、「至誠にして、動かざるは、いまだこれあらざるなり。」

人間環境デザイン学科 学科長
三井田 康記

卒業論文に取り組んだ皆さんへ

第9期卒業生54人の内、卒業制作31組34人、卒業論文には9組20人が取り組みました。卒論は評価が低いという声を聞きます。その度に「そんなことないよ」と、諭してありますが、実際はその通りです。制作は、出来上がり、見た目がすべてと言っていいでしょう。大きな物、美しい物に誰もが視線を奪われます。卒論は、結論がビジュアルでは示せません。そもそもテーマによっては、はっきりした結論が出ない事さえあります。人は視覚による情報に大きく左右されます。それだけでも卒論は不利です。さらに、直前の集中力だけでは完成しません。テーマを決め、計画を立て、実験や調査に取り組み、データを処理、分析してまとめるという時間が膨大にかかります。しかし、取り組んだ時間の長さは評価の対象にはなりません。損をしたと、思いますか？発表を終え、いろいろな指摘を受けた今、徒労感しか残っていませんか？これからの人生にプラスになったとは思えませんか？教えて下さい。

人間環境デザイン学科 主任
齋藤 功子

この冊子の中には、ひとりひとりの4年間の集大成がぎゅっと詰まっています。

自分自身はもちろん、仲間の完成に至るまでの辛さや苦しみを思い出す人も多いでしょう。卒業制作・論文に取り組む前と現在との違い、それこそが成長の証です。

これから皆さんは社会の中で育まれていきます。時折降りかかる試練はステップアップのチャンス。助言に耳を傾けながら考え、前を向いて歩いていってください。

卒業証書を手に、キラキラと輝いている皆さんの姿を想像しながら、この文章を書いています。畿央大学で2回目に担任した学年でした。関わった時間が長い分、嬉しさも淋しさもひとしおです。また近況を知らせに来てくださいね。

卒業おめでとう！

東 実千代

卒業研究、お疲れ様でした。1年間の成果を見させていただき、よく頑張ったと思います。中には不完全燃焼や、時間切れのものもありましたが、全体的に優れた研究作品が多かったように思います。制作に関しては、次のような視点で優れた作品がありました。やはり、デザインされたものですから、美しいということが第一です。今回の最優秀作品は確かに美しいものでした。アパレル作品等も綺麗でした。次にアイデアの面白い作品もありました。建築系の作品でよく考えた斬新なものもありました。それぞれ、作品として質の高いものが多かったです。優秀作品として発表の機会をもらえなかったものの中でも、優れた作品は多々ありました。中には、機能的な側面で徹底的に検証して作り上げた作品でありながら不本意な評価だったものもありました。デザインは思い付きでなく、その検証に多くの時間をかけることによって優れた作品が生まれるものですが、結果として低い評価であっても、よく頑張った作品として評価したいと思います。

中山 順

素晴らしい作品も幾つかはありました。特に〇〇さん、良かったです！

しかし、建築作品に関しては、少々残念な結果です。頑張った人もいにはいましたが、ある物は提案性に欠け、ある物は計画が未熟で、ある物はプレゼンテーションが至らず、何れも心を打つ作品には仕上がっていなかったのです。

勿論、各々に不得意な分野はあることでしょう。しかし、それを克服し全てを満足しなければ結果は得られません。「最大の危険は、目標が高すぎて達成出来ないことではなく、目標が低すぎてその低い目標を達成してしまうこと（ミケランジェロ）」ですから。

「でも自分には・・・」？ 二十歳を過ぎたばかりの君たちに、不可能なことなどほとんどありません。これからの努力次第です。どうか次の挑戦（仕事趣味恋愛・・・）では、高い目標とそのための努力を惜しまないで下さい。「やる価値のあることなら、たとえ最初は下手であっても、やる価値がある（同）」のです。

藤井 豊史

まず初めに作品の評価は難しい。自分自身が自分の作品・論文を正直に自己採点するのが最適かもしれない。自らが満点をつけられるものを今後は生み出してほしいと切に願う。私が卒業研究（制作）に没頭していたのは35年以上も前ですが、まるで昨日の事ように思われます。当時は製図室にほぼ全員が泊まり込み、ある種異様な雰囲気をつくっていました。徹夜の連続でそれぞれが苦しい状況に追込まれていましたが、特別な連帯感のようなものも生まれていました。自分自身の卒業作品を忘れることはありませんが、作品とともに脳裏にこびりついているのはあの時の断片的な場面だ。朝のラジオ体操・近所の喫茶店のモーニングサービス・製図室に流れている音楽・インスタントラーメン・寝袋そしてたわいない会話・・・今、教える立場になり複雑な心境であるが、ゼミ室を訪れるとそこ人間環境デザイン学科にもよく似た場面をみることができ、とても嬉しく思うのである。当時の自分に戻れたような錯覚を味わえる至福の時間であった。本音を言わせてもらえれば、そっち（学生）がいに決まっているのだ。もうすぐあなたたちもこっち（社会人）に来るんですね。

加藤 信喜

講評の代わりに、歌詞を贈ります。

♪生きるのは簡単 眼を閉じて
♪見るものを 見えるように 見ていくんだ
♪キツかったよ 他の誰かになるのが
♪でも それは 済んだことだ
♪もう ボクには どうでもいいんだ

(“Strawberry Fields Forever” by Lennon & McCartney)

So Long, My Strawberry Fields !

10年間お世話になりました。

金敷 大之

卒業研究発表会が終わり、作品集の撮影をしている頃ですね。

自分の作品を見て1年間を思い返していることでしょう。

私は卒業研究を指導するにあたり

「これをするのはあなたしかいない。あなたならきっと出来る。」という目標をたてました。

それぞれの学生さんが苦手とするところを克服するための様々な機会を作りました。

その機会を逃げることなく真摯に取り組んだ積み重ねの結果が、みなさんを成長させました。発表会のあとの自信に満ちあふれた表情は忘れられない一コマです。

あなた方の成長を目の当たりに出来たことうれしく思います。

と同時に、私の大きな課題が完了したと感じた瞬間です。

4月から社会人ですね。

とまどうことも多々あると思いますが、「あなたならきっと出来る」と言う言葉が後押ししてくれるはずです。

応援しています。

村田 浩子

人間環境デザイン学科9期生のみなさん、お疲れ様でした。この1年間、畿央大学で4年間学んだことの集大成としてひとつのカタチに仕上げるまでいろいろと苦労があったかと思います。ひとり、またはチームとなって就職活動と同時に卒業研究のテーマを決め、予備調査とディスカッションなど、ひとつの「カタチ」にするまで、試行錯誤を繰り返しながらやり遂げた結果に対する達成感、満足感は今やしっかり身についているはずです。苦労したことも楽しかったこともすべて忘れられない素敵な思い出となり、今後この貴重な経験は社会人の仕事においてしっかりと活かされるに間違いのないでしょう。自分を信じて前向きに頑張ってください。いつも陰ながら応援しています。

李 沅貞

この講評にコメントさせていただくことにすごく悩んで、教員の立場なのに締切をだいぶ過ぎてから提出しました。みなさんと会った4年間があつという間すぎてなにを書いていいか、結局今もわからないまま文字を打っています。ただ、教員らしいことは何もできなかったなとそんな気がしています。みんな優しく一生懸命で私のほうが励まされてた。でも卒業する今、今度は社会人の先輩としてすこしでもそのお返しに出来たらと思って送ります。卒業研究、いろんな思いがあったと思います。講評会の時ほとんどの人が“もっとやれたのに”という顔をしていました。でも私は4年間で一番のものをを見せてくれたと思っています。思い出してみてください。線の書き方からしていた1回生からどれだけ成長しているか。成長の度合いなんて人はみんな違うから個人差は出てあたりまえ。だけど4年間見てきた私や先生方はちゃんとわかっています。言葉には出していないかもしれないけれど、みんな確実に大きくなったって。今、本当にそう思います。だから自信を持って。みんなの愛嬌ならどこでも大丈夫。厳しい中にも楽しくて幸せなことがぜったいあるから。がんばって。

奥村 亜希

「人が成長するためには素直さが必要」だと多くの人は語る。

一年をかけてつくりあげてきたあなたの卒業研究、自分の胸に手をあてて考えてみよう。教員を含めた周りの人たちの意見を素直に聞き入れることができただろうか。自分の研究や作品に対し投げかけられた批判も含めた意見を素直に聞き入れることができただろうか。

今後社会に出れば、もっと理不尽な扱いや評価を受けるかもしれない。学生時代は友人からも目上の人からも最も真摯な指摘を受ける最後の時期だ。今ほど長期間、密度を濃く、損得なしにいろんな人と信頼関係を築けることは難しい。

一度社会に出るまでに周囲の人たちに言われた言葉を思い出してほしい。卑屈にならず、自信過剰にもならず、自分の受けた評価を真摯に受け止め、これからの人生に役立てて欲しい。

長井 典子

本学における四年間の学修の集大成として、学生諸君がまとめた卒業研究・制作の成果を、私自身の自己啓発の意味も込めて、今年も閲覧・視聴させてもらった。

本学科の性格上、その内容が広範囲で多岐にわたる中で、今年は、小職が専門とする建築に関するテーマが半数に満たず、二次審査に残ったのが4件と少々寂しい気がした。

どの分野の作品も、学生諸君の身近な生活に根ざした課題を探索・発見・創造したうえで、本学で修練した専門の知識・技術を駆使し、豊かな生活環境の創造に向けて、若者らしい多くの可能性を秘めた提案がなされていたように思う。

建築の作品では、Aさんの「OBP CLOUD」やYさんの「UNITED CAMPUS of NAKANOSHIMA」は、人が集まることで、場所も生き生きとする、「建築は人やまちを元気にする」と言う言葉もあるように、そういう空間の可能性を追求しようとした作品で興味深かった。

多くの作品に込められた提案が、卒業研究のための一過性のアイディアにとどまることなく、発展的に有効に生かせるようなものに昇華させてくれることを期待している。

岡井 豊治

健康科学部
人間環境デザイン学科 教員

教授

学 部 長 金子 章道
学 科 長 三井田康記
主 任 齋藤 功子
東 実千代
中山 順
藤井 豊史

准教授

加藤 信喜
金敷 大之
村田 浩子

講師

李 沅貞

特任助教

奥村 亜希
長井 典子

特任講師

岡井 豊治

作品集 編集委員

長井 典子
奥村 亜希

上田 加奈
上地 七菜
後和伸之介
志茂 直樹
塚本 利薫
延原 成穂
本山 千恵
堀口 拓樹
松田 大雪
本山 千恵
石橋 佑資
小笹 夏海
小松智菜美
佐野 芹奈
清水 美裕
多田 遥香
土井 美沙
吉岡 俊輔

以上

卒業制作・論文作品集 9

2015 年 3 月 17 日 発行

発行 畿央大学

健康科学部 人間環境デザイン学科

代表 学長 冬木 智子

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2

印刷 株式会社 明新社